



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月26日

上場会社名 株式会社 ウェッズ  
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲妻 範彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上村 定芳

TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日 平成30年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,127	22.6	129	49.1	157	45.0	86	54.6
30年3月期第1四半期	5,000	2.4	254	9.9	286	1.8	189	3.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 352百万円 (76.8%) 30年3月期第1四半期 199百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	5.37	
30年3月期第1四半期	11.82	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	18,452	13,233	65.3	751.76
30年3月期	19,759	13,231	60.9	750.02

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 12,056百万円 30年3月期 12,028百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		20.00	30.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		10.00		18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当16円00銭 特別配当4円00銭

## 3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,900	19.2	580	12.9	630	8.3	380	0.1	23.69
通期	32,000	11.2	1,980	13.6	2,040	10.0	1,250	9.2	77.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	16,118,166 株	30年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	80,000 株	30年3月期	80,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	16,038,166 株	30年3月期1Q	16,038,166 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の保護主義の高まりから、欧州経済の拡大にブレーキがかかり始めたり、中国との間で貿易戦争に発展しそうなことから、一気に先行き不透明感が増し、我が国においても米国保護主義の影響が懸念される所です。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第4四半期より子会社となった㈱ロジックスによる物流セグメント追加等により6,127百万円（前年同期比22.6%の増収）と1,127百万円の増収となりました。一方、営業利益は主力のアルミホイールの中で高級・中級品が伸び悩み、加えて原材料等の値上げによる原価高の影響もあり、129百万円（前年同期比49.1%の減益）と124百万円の減益でした。経常利益は157百万円（前年同期比45.0%の減益）と128百万円の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、86百万円（前年同期比54.6%の減益）と103百万円の減益となりました。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第1四半期 連結累計期間	4,367	1,252	382	103	268	△247	6,127
	前第1四半期 連結累計期間	4,284	—	416	100	222	△23	5,000
セグメント利益 又は損失(△)	当第1四半期 連結累計期間	157	7	△22	△10	△2	△0	129
	前第1四半期 連結累計期間	255	—	△4	△10	13	—	254

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は、4,367百万円となり前年同期比83百万円(1.9%)の増収となりました。これは、主力のアルミホイールは減少したもののスチールホイール・用品等の売上が増加したことに拠ります。セグメント利益につきましては、アルミホイールの減収と原価高により、157百万円となり前年同期比98百万円(△38.5%)の減益となりました。

(物流事業)

前第4四半期より連結子会社となった株式会社ロジックスの営む物流事業の第1四半期期間の売上高は、1,252百万円となり、セグメント利益は7百万円と堅調に推移しました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は、前年タイヤ販売の特需があり売上は好調でしたが、今年は382百万円となり前年同期比33百万円(△8.1%)の減収となりました。これに伴い、セグメント損失は22百万円となり前年同期比18百万円の損失増加となりました。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、103百万円と前年同期比3百万円(3.0%)の増収となりました。セグメント損失は、売上高の確保により、10百万円となり前年比若干の改善となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高につきましては、今年4月より新規オープンした酒田みずほ店が売上に寄与し247百万円となり前年同期比46百万円(22.9%)の増収、賃貸事業の売上高は21百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて268百万円となり前年同期比46百万円(20.8%)の増収となりました。一方セグメント損失は、携帯電話代理店事業においては新規店による初期費用の計上の影響し、セグメント損失は10百万円と前年比15百万円の減益となりました。また、賃貸事業は8百万円のセグメント利益で前年同期とほぼ同額となり、合わせて2百万円のセグメント損失で前年同期比15百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における総資産額は18,452百万円となり、前期末に比べて1,307百万円減少しました。主たる要因は、売掛債権の回収によるものです。

負債総額は5,218百万円であり、前期末に比べて1,309百万円の減少となりました。主たる要因は買掛債務の支払によるものです。

純資産は13,233百万円となり、前期比2百万円の増加となり、前期末とほぼ同額となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成30年5月11日付当社「平成30年3月期決算短信」にて公表いたしました平成31年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,588,941	2,222,271
受取手形及び売掛金	4,048,925	2,943,565
電子記録債権	224,030	157,328
商品	2,892,181	2,827,210
仕掛品	237,751	207,503
原材料及び貯蔵品	59,969	58,606
デリバティブ債権	—	173,062
前渡金	547,553	1,137,530
その他	365,108	211,735
貸倒引当金	△1,632	△644
流動資産合計	10,962,828	9,938,170
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,625,056	6,691,672
減価償却累計額	△3,627,586	△3,678,139
建物及び構築物（純額）	2,997,470	3,013,533
土地	3,169,738	3,169,738
その他	1,643,413	1,627,234
減価償却累計額	△1,268,994	△1,294,012
その他（純額）	374,419	333,222
建設仮勘定	350,453	327,458
有形固定資産合計	6,892,082	6,843,952
<b>無形固定資産</b>		
のれん	158,728	154,142
その他	81,564	75,848
無形固定資産合計	240,292	229,991
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	492,722	456,716
繰延税金資産	265,401	192,370
退職給付に係る資産	82,609	79,476
その他	828,383	718,042
貸倒引当金	△4,910	△6,545
投資その他の資産合計	1,664,207	1,440,059
固定資産合計	8,796,582	8,514,003
資産合計	19,759,411	18,452,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,479,599	1,992,469
短期借入金	1,026,476	1,043,488
未払法人税等	480,559	67,137
携帯電話短期解約返戻引当金	320	442
賞与引当金	200,556	196,601
役員賞与引当金	46,050	10,546
デリバティブ債務	239,697	—
その他	963,884	771,224
流動負債合計	5,437,143	4,081,909
固定負債		
長期借入金	80,044	65,047
繰延税金負債	21,278	74,172
修繕引当金	94,000	97,000
退職給付に係る負債	164,810	170,361
役員退職慰労引当金	185,514	191,439
資産除去債務	192,607	194,148
その他	352,456	344,111
固定負債合計	1,090,711	1,136,280
負債合計	6,527,855	5,218,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	745,979	745,979
利益剰余金	10,395,328	10,160,678
自己株式	△47,760	△47,760
株主資本合計	11,946,298	11,711,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,528	196,366
繰延ヘッジ損益	△165,698	120,011
為替換算調整勘定	29,738	28,869
その他の包括利益累計額合計	82,567	345,246
非支配株主持分	1,202,690	1,177,088
純資産合計	13,231,556	13,233,983
負債純資産合計	19,759,411	18,452,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,000,275	6,127,887
売上原価	3,757,817	4,885,038
売上総利益	1,242,458	1,242,848
販売費及び一般管理費	988,318	1,113,422
営業利益	254,140	129,426
営業外収益		
受取利息	43	139
受取配当金	5,819	8,480
持分法による投資利益	4,085	—
為替差益	17,519	345
店舗出店等支援金収入	1,934	14,176
その他	3,791	9,990
営業外収益合計	33,193	33,132
営業外費用		
支払利息	832	1,099
その他	201	4,027
営業外費用合計	1,033	5,127
経常利益	286,300	157,431
税金等調整前四半期純利益	286,300	157,431
法人税、住民税及び事業税	65,599	58,762
法人税等調整額	31,871	8,764
法人税等合計	97,471	67,527
四半期純利益	188,828	89,903
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△695	3,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,524	86,113



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	188,828	89,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,597	△22,154
繰延ヘッジ損益	△3,868	285,709
為替換算調整勘定	△1,113	△869
その他の包括利益合計	10,615	262,686
四半期包括利益	199,444	352,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,147	348,792
非支配株主に係る四半期包括利益	△703	3,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,261,146	415,930	100,588	4,777,665	222,610	5,000,275	—	5,000,275
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	23,062	238	—	23,301	—	23,301	(23,301)	—
計	4,284,208	416,169	100,588	4,800,967	222,610	5,023,577	(23,301)	5,000,275
セグメント利 益又は損失 (△)	255,589	△4,595	△10,346	240,647	13,492	254,140	—	254,140

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,301,427	1,076,012	377,980	103,636	5,859,056	268,830	6,127,887	—	6,127,887
セグメント間の内部売上高又は振替高	66,076	176,886	4,341	—	247,304	—	247,304	(247,304)	—
計	4,367,503	1,252,899	382,321	103,636	6,106,361	268,830	6,375,191	(247,304)	6,127,887
セグメント利益又は損失(△)	157,294	7,445	△22,632	△10,123	131,984	△2,387	129,596	(170)	129,426

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額170千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

前第4四半期連結会計期間において、株式会社ロジックスの株式を追加取得し当社の連結子会社としております。これに伴い、報告セグメントに「物流事業」を新たに追加しております。